

2024年

10月26日(土) ▶ 12月8日(日)

多胡碑記念館 第46回企画展

高句麗 広開土王碑 「多胡碑記念館本」をみる

写真：広開土王碑「多胡碑記念館本」第一面(当館蔵)

開館時間 | 9:30~17:00(入館は閉館30分前まで)

休館日 | 月曜日(ただし10/28[群馬県民の日]と11/4[祝日振替休日]
は開館)、11/5(火)

観覧料 | 無料(上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録を記念し2025年3
月30日まで)

後援 | 学習院大学東洋文化研究所

関連行事 展示解説会

日程 | ① 11/8(金) ② 11/30(土)
どちらも13:30から(30分程度)

定員 | 各回15人(申込先着順)

場所 | 多胡碑記念館 吹き抜け部、企画展示室

申込 | 10/16(水) ▶ AM 9:30から電話にて受付開始

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085 電話:027-387-4928 FAX:027-387-8726
E-mail: tagohi@city.takasaki.gunma.jp

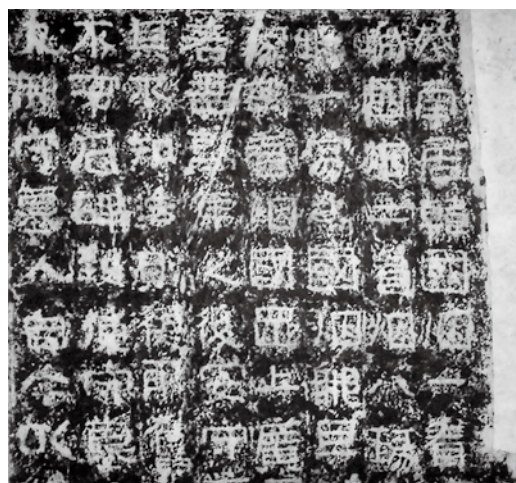
■ 諸事情により内容が変更となる場合があります。■ 最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。



高句麗 広開土王碑 「多胡碑記念館本」をみる

ユネスコ「世界の記憶」上野三碑（山上碑・多胡碑・金井沢碑）のガイダンス施設である多胡碑記念館は、日本の古碑につながる資料として、中国大陸にある石碑の拓本（碑文を墨で写し取ったもの）を収蔵しています。そのうちの広開土王碑拓本は、日本国内各地で確認されているうちの一本です。専門家による調査により、当館が所蔵する広開土王碑「多胡碑記念館本」は、文字を補うために碑面に石灰が塗られるようになった後の「石灰拓本」に分類され、制作された時期は一九二〇年頃と推定されました。今回の展示では、館内吹き抜け部に「多胡碑記念館本」第一面（長さ約6m）全体を、展示室に第二、四面を部分展示し、拓本としての特徴を解説します。また、参考資料として田山花袋旧蔵の同碑拓本（未表装／田山花袋記念文学館蔵）第二面を折り畳んだ状態で展示します。

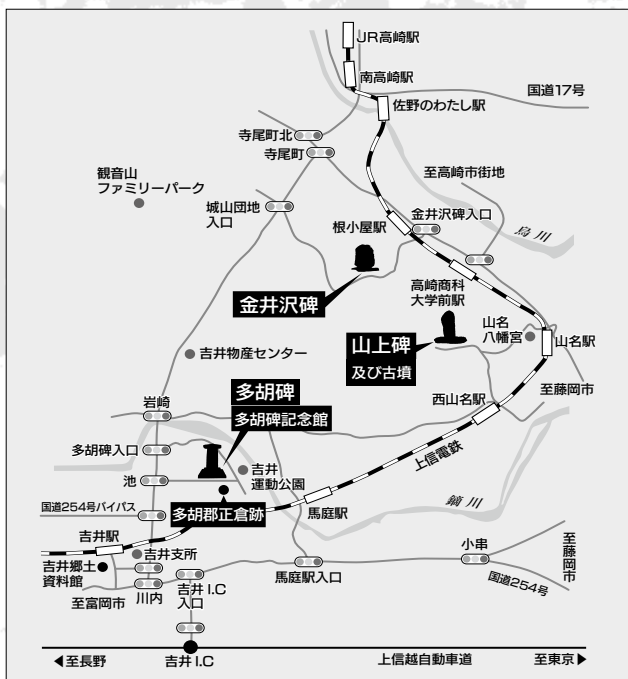
奥深い広開土王碑拓本研究の一端を知っていたら、本企画展が、中国大陸から朝鮮半島、日本列島、上野三碑にいたる文字文化の伝来について考えていただく機会となれば幸いです。



広開土王碑「多胡碑記念館本」(部分)
第四面(当館蔵)

◎ 広開土王碑

好太王碑とも呼ばれる。朝鮮半島における三国時代の414年に、高句麗最盛期の王・広開土王を称えて建てられた高さ639cmの石碑。文字の記録が限られる4世紀末～5世紀代の東アジアの国際情勢を伝える歴史資料として重要視される。中国吉林省に現存。



- JR高崎駅から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分 上野三碑めぐりバスで約10分
- 上信越自動車道 吉井ICから車で約7分

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085
電話.027-387-4928 FAX.027-387-8726
E-mail tagohi@city.takasaki.gunma.jp



八幡六枚遺跡出土刻書土器（9世紀後半／高崎市八幡町）「片岡郡」の「岡」の字は、広開土王碑や多胡碑と同じ字形「𡵓」を用いる。（高崎市教育委員会蔵）



多胡碑(部分)「片岡郡」

上野三碑関連イベント情報

◆ 上野三碑特別公開

日時 | 10/27(日) 9:00~15:00
場所 | 山上碑・多胡碑・金井沢碑 各現地

◆ 上野三碑かるた大会

日時 | 11/3(祝・日) 9:30~11:30
場所 | 吉井運動公園 体育館

詳しくは高崎市公式ウェブサイトにて

